

血球細胞DNAメチル化変化を標的とした新規腎臓病治療戦略の開発

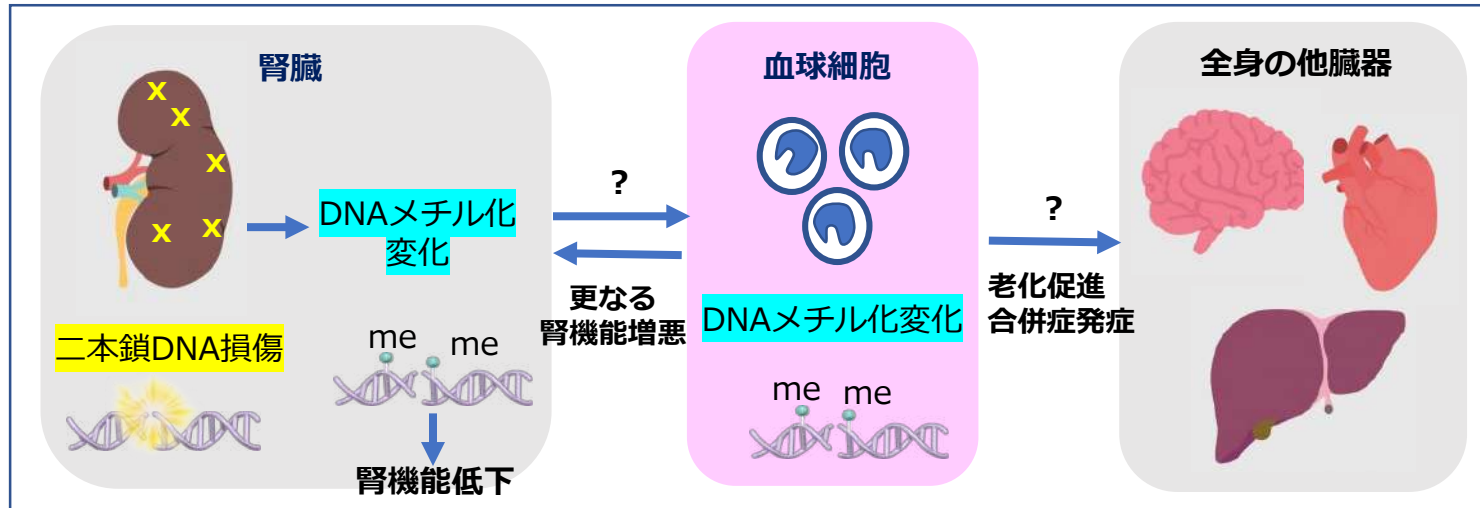
腎臓病を血球細胞DNAメチル化から治療する



ふりがな はやし かおり
氏名 : 林 香
所属・部門 : 慶應義塾大学医学部内科学教室（腎臓内分泌代謝）
職位 : 教授
専門分野 : 腎臓学

<研究概要>

私たちは腎臓におけるエピゲノム変化、およびエピゲノム変化形成プロセスに関するDNA損傷に注目して腎臓病の病態解明を試みています。本研究では、腎臓病が他臓器合併症を来す全身疾患であることから、腎臓のDNA損傷が、腎臓だけでなく血球細胞のDNAメチル化変化も惹起し、腎障害の増悪、他臓器障害に関与している可能性に注目し、腎臓病およびその合併症の新規治療標的開発を目指します。



<略歴>

2004年3月慶應義塾大学医学部卒業、2004～6年国立国際医療センター初期臨床研修医、2009年～学術振興会特別研究員（DC2）、2007年4月慶應義塾大学大学院博士課程入学、2011年3月博士（医学）取得。2011年4月～慶應義塾大学腎臓内分泌代謝内科助教、2012年7月～同大学予防医療センター助教、2017年4月～同大学腎臓内分泌代謝内科助教、2021年6月～同 専任講師、2023年4月～同 教授、診療部長